

## 激動の経営

### 大賞を受賞

メトロ電気工業(愛知県安城市)が、ガスでは、長らくガスが使用されてきたが、電気を使用した加熱方法へポンランプヒーターの転換が注目されてきた。「オレンジヒート」。た。産業用加熱器事業開発によって加熱方法に革新をもたらし、大幅な環境負荷を低減す

## メトロ電気工業

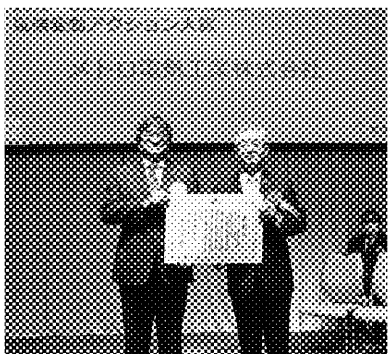
④

るとして、2021年度の「気候変動アクション環境大臣表彰」で大賞を受賞した。社長の川合誠治は「環境に良いということについて、国のお墨付きを頂いた。環境のためにも、熱源を扱う人に広く知ってもらう必要がある」と意気込む。

脱炭素が叫ばれる昨

## 脱炭素社会に貢献

岡県牧之原市)で加熱加熟装置を開発。これにより、エネルギー使用量は54%、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)換算では59%、加熱時間も50%削減できた。この取り組みでは、20年度の省エネ大賞で省エネルギー「サブストーク」を1センター会長賞を受賞している。



オレンジヒートで21年度の「気候変動アクション環境大臣表彰」の大賞を受賞した社長の川合(左)

品として家電メーカーへ納めるヒーター管事業部も伸ばす必要がある。それまでは名も無いひとつのヒーター部品だったが、オレンジヒートという名称を付けたこと

## 熱源電化、環境のために、

で、ブランディングには「拡大よりも継続成功した。現在は、ヤを選んて、信頼されるマタホールディングス企業を継続してほしい」と訴える。

(HD)がプライベーターに採用し、オーブントースターを4月に発売。今後、各ポイントでもラインアップを増やしていく計画だ。川合は「こたつは国内需要だが、家電は世界需要」と生産台数が増え、冷蔵庫の豆電球、でも対応できる下準備と身近にある製品で100年以上、人々の生活を支えている。環境のための熱源の電化」という新たな大仕事を自らする川合。社員には「エンジンのようにアイデアをひらめいて、自ら考えて動ける人になって」と人材育成セミナーも始めた。古屋・津島はるかが担当後、会社を担う若者

### 信頼を継続

今でも社長室で設計を自らする川合。社員には「エンジンのようにアイデアをひらめいて、自ら考えて動ける人になって」と人材育成セミナーも始めた。古屋・津島はるかが担当後、会社を担う若者

(敬称略)

今でも社長室で設計を自らする川合。社員には「エンジンのようにアイデアをひらめいて、自ら考えて動ける人になって」と人材育成セミナーも始めた。古屋・津島はるかが担当後、会社を担う若者